

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2023~2024年度 No.289

1 月報

那須クラブ会長 主題

「若者と共に」成長しよう



強調月間：EF

JEF

今月の聖句 ヨハネによる福音書 17：21
父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。(略)

1月第1例会(新年例会・部長公式訪問)

日時：1月20日(土)午後6時~8時30分

場所：北海道料理「積丹」大田原市中央1丁目7-5

電話：0287-23-7363

地図は、6ページに掲載

内容：大久保知宏北東部長公式訪問・山田公平東日本区理事講話

司会 副会長 田村 修也

開会点鐘

聖書朗読・祈祷

会長挨拶

大久保 知宏北東部長挨拶

会食

会食中に

自己紹介(この1年の願い)

平山雄大担当主事受洗お祝い贈呈

会食後(30分程度)

山田公平東日本区理事講話

「ユースリーダーたち若者に期待するもの」

報告事項 YMCA・ワイズ

YMCAの歌

閉会点鐘

会費 メンバー 5,000円

ユースリーダー 1,000円

参加者は、1月16日(月)までに河野会長(090-1997-2077)に連絡のこと

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウロセン(デンマーク)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) 利根川 恵子(川越)

「改革のための光となろう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平(宇都宮)

「未来のために今、学びと気づきを！」

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長：大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

12月例会データ(出席率：100%)

在籍者 8名

出席者 8名 メネット 3名 コメント 2名 ユー

スリーダー 2名 Yスタッフ3名 ゲスト 37名

1月 Happy Birthday

1/7 藤生 容子メネット

1/14 藤生 強メン

1/15 田村 暁美メネット

・2月第1例会(ユースリーダー報告会)

日時：2月15日(木)午後6時~

場所：日本基督教団西那須野教会

内容：ユースリーダーによる活動報告

・3月第2(役員会)例会

日時：2月23日(金・祝)午後1時30分

場所：田村副会長宅

巻 頭 言

張 蔚麗

アメリカの一時帰国の思い出

ロサンゼルス戻ってきてからただの二週間滞在中疲れしました。一時帰国はおおむね楽しかったです。コロナウイルスの流行から3年が経過し、日本では危険性が最も低い5類感染症に移行されました。世界中でも旅行に対する制限が緩和され、海外旅行を計画・実行する人が増えてきているようです。コロナウイルス流行の傍らで問題視されていたのが物価の高騰。

「意外と混んでる・・・」が第一印象のLAX国際線の到着口とチェックインカウンター。入管前の人群行列と自動チェックイン後、つづくに手荷物預け入れの有人カウンターは行列ができていました。少しずつ海外渡航者が戻りつつあることを実感します。ロサンゼルスは信じられないほど多様性に富んだ都市で、140か国以上の人々が住んでおり、確認されている限り224の言語を話すの魅力がある原因かな・・・。現在、州は依然としてワクチン接種を受けていない人に屋内でフェイスマスクを着用することを推奨しているが、市や州が義務付けている検査やワクチン接種の義務はない。

LAでは公共交通機関(電車、バス、タクシー等)はマスク着用が任意ですが、それ以外は街中では意外とマスクをしている人が多い印象でした。お店やレストランでは自己防疫のアルコール消毒が設置されているところなどは日本と同じで安心でした。仕事や外食ほぼ同じ日常に戻りつつあるように見えますが、元々、マスク文化がないLAでまだマスク着用が継続しているのはコロナ禍の影響が残っているなと感じます。

今回の日本に滞在もう4年たちました。途中でコロナの大きな影響があったけど・・・また様々な人々に出会って、いろいろな面白い仕事や体験をしました。日本では、自由に外出し、日本文化を体験することができます。日本の友人や先輩たちに助けられ、とても日本の生活に有意義になりました。そこで日本各地への旅行をとして、日本の伝統文化に体験しただけでなく、現在の日本の社会発展や技術普及を、もっとより深く理解しました。結局のところ、人生には変化が必要で、居心地の良い場所から抜け出し、外国でより自立した刺激的な人生を送ることを楽しみにする必要がありますと感じ、この先のことを真剣に考えないといけないなあ、と思った一時帰国でした。



202312.9 12月例会(クリスマス礼拝・祝会)於:西那須野教会

12月第1例会(クリスマス礼拝・祝会)報告

コメット2名、ゲスト：ユースリーダー2名、とちぎYMCAスタッフ3名、西那須野教会3名、養徳園29名、その他3名 計53名



恒例のクリスマス例会を、日本キリスト教団西那須野教会を会場に行いました。

毎年招待をしている養徳園の子ども達と先生方、聖園那須老人ホームの方々、那須YMCAユースボランティアリーダー達、西那須野教会会員の方々、などたくさんのゲストを迎え、メンとメネットを合わせると50名を超える参加を得て、楽しく賑やかに行われました。新型コロナ感染予防のため2021年と2022年はキャンドルサービスのみの開催でしたが、今年は新型コロナ5類移行、そして“まるで終息した、様な感染者減少を受け、祝会も行うことが出来ました。

初めは教会の礼拝堂を会場に、「例会開会」と「キャンドルサービス」を行いました。



「例会開会」はいつもの様に開会点鐘、ワイズソング、会長あいさつを行いました。「キャンドルサービス」は、明かりを落とした礼拝堂へYMCAリーダー2名が火を灯した

キャンドルを持って入場し、祭壇に置かれた大きなキャンドルと参加者のキャンドルへ点火をして始めました。参加者一人一人の小さなキャンドルに火が灯ると礼拝堂は幻想的で厳かな雰囲気になりました。

その中でパイプオルガンの伴奏によって讃美歌を歌い、西那須野教会潘牧師から『クリスマスを楽しむ』をテーマ



のメッセージを頂きました。『クリスマスは楽しいもの。クリスマスにプレゼントを貰うと嬉しいが、何を貰うと嬉しいか』『ケーキを貰ったら嬉しいが1年間嬉しさは続くか。おもちゃを貰ったら嬉しいが1年間嬉しさは続くか』『神様は素晴らしいプレゼントをお与えになった。それはイエスキリスト』『イエスキリストは救い主。私たちが救ってくれる方をプレゼント



してくれた』『何かあったら神様に祈れば救ってくれる。1年間いつでも祈ることが出来る』『クリスマスは神様

からイエスキリストをプレゼントされた日』というクリスマスメッセージを頂きました。

次に教会の集会室を会場に「クリスマス祝会」を行いました。始めに食事をしました。大きなテーブルの上にサンドイッチや唐揚げ、サラダなどたくさんの料理が並び、みんなで美味しく頂きました。食事の



準備は、メン・メネット・教会の方々のお手伝いですべて手作りです。お腹が満たされた後は、YMCAリーダ

ーによるクイズ形式のゲームをしました。養徳園の子どもたちはもちろんのこと、大人も大いに盛り上がり

ました。その後「西那須野教会より」「養徳園」へのクリスマスプレゼントが、「那須ワイズ」より「聖園那須



老人ホーム」「アジア学院」へクリスマス献金を贈呈しました。また「ギデオン協会」から「養徳園」「ユースリーダー」へ聖書の贈呈も行われました。

多くの参加者と共にクリスマスを楽しむことが出来た「クリスマス例会」は、とても素敵な "



神様からのプレゼント、となりました。

2024年1月第2例会（役員会）報告

日時：12月21日（金）午後4時30分～

場所：田村副会長宅

出席者：河野、田村、村田、平山の各メンバー
田村メネット、

1. 1月例会について

新年例会と大久保知宏北東部長の公式訪問例会とする。日時は、1月20日（土）午後6時から、場所は北海道料理「積丹」（大田原市中央1丁目7-5、とことこの裏）、

会費はメンバー・メネット5,000円、ユースリーダー1,000円とする。山田公平東日本区理事を迎えて、「ユースリーダーたち若者に期待するもの」の講話をお願いする。プロおグラムとしては、例会の簡素化を行う。例会の中で、平山担当主事に受洗祝いを贈る。

2. 2月役員会は、1月26日（金）に行う。

2月例会日については、リーダーの都合を優先する。内容は、ユースリーダーの報告会とする。弁当を準備する。準備は村田が行う。

三島開拓地での孤児教育事業—本郷定次郎の生涯—（3）

副会長 田村 修也

彼が麴町一番町に暁星園を移した頃明治24年10月28日に死者5,000名を超えた濃尾大地震があり、定次郎も単身被災地に飛んで「孤児救済事務所」を建てた。石井十次も同様に被災地から60名の孤児を収容している。しかし定次郎は資金もなく、一番町の家では狭すぎた。

幸いにも麻布竜土町に適当な家があり、矢も楯もたまらず購入した。この資金300円を得るため、郷里の土地を売ることを思いついたが親戚の反対があり、ついに家督を従兄弟に譲ることで妥協案が示され、350円を手にしたものである。

この頃から入園する者も増え、やがて30余人の大所帯にふくれあがった。からかい半分に訪ねてきた前科7犯の男が、園の実情を見て悔悟を見せ、彼の手足となって働くようになった逸話が残っている。

定次郎が栃木県那須野が原に理想的な孤児院を営むべく出発したのは、明治25年4月のことであつた。

青木開墾地

暁星園には、いつか支持者が現れ、のちの外務大

臣青木周蔵子爵もその一人で、その頃那須野原開拓事業を起こすべく、黒磯駅より8キロの地点に、1576ヘクタールの開墾を行っていた。

青木周蔵には「華士族に土地を所有せしむる必要」を持論とする土地哲学があつた（註坂根義久「青木周蔵の土地哲学と青木開墾野州史学第4号」。即ち貴族は体面保持のため強固な永続的財産を必要とする。又社会に於ける貴族の位置は人民の指導者であり、常に天下国家のため率先する義務があると木戸孝允に答えている。そのための揺るがない財産は広大な土地所有にあるとしている。

1868（明治元）年にドイツに留学してから18年までの間2度帰国しただけで、任地ベルリン公使館にあつて、青木自身は青木開墾の経営に当たることはなかつた。そのため実弟三浦泰輔（ドイツに留学し、近代農業を学ぶ。後に甲武鉄道・京浜電鉄・エビスビールなどの社長を歴任）に経営を任せていた。青木と泰輔との相互信頼関係は厚く、細かく指示を送れば、忠実に実行するという具合であつたので、各地にある青木の所有地の経営管理は泰輔が行っていたのである。

そのため泰輔も青木開墾だけに常駐できず、管理人重久徳治をして事業の推進監督に当たらせていた。

1887（明治20）年初頭の「移住契約」、磯忍著「青木農場における移住人の待遇」にあるように、土地はすべて貸与、貸し付けた畑は6ヶ月以内に耕地にして穀物や野菜などを栽培する義務を負わせていた。

これらのことを那須野が原に赴いた定次郎は承知していたのだろうか。青木の土地哲学を知らず、ただ青木が築地三一教会の会員であり、定次郎の支持者であるとだけ早合点していたことはなかろうか。これが定次郎の青木開墾での失敗につながることを神ならぬ身の知る由もなかつた。

那須野の試練

青木の妻はドイツの貴族で、二人はここに西欧の貴族領地の建設を夢みていた。貴族は貧しい社会に施しをするのが当然のこととして、本郷の孤児院をここに移し、キリスト教の村づくりの便益を図ろうとした。定次郎もその意を受けて、青木農場に年長の少年12名を選んで第一陣を送った。彼はこれらの少年がいずれ成長して独立するためにも農業によることが良作策と考えたのである。（以下次号へ）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

幼稚園では、園児以外のクリスマス会があります。しょうがいのある卒園生のクリスマス会学生の部と社会人の部です。

9日にしょうがいのある卒園生学生の部クリスマス会をホールで行いました。スタッフも含め総勢100人、成長した卒園生、保護者、そしてスタッフ等が、楽しそうに過ごしている姿に私もうれしくなりました。

最高学年は、高校2年生T君です。一緒に来たお父さんよりもがっちりしていました。ホールでT君は、幼稚園の頃からお気に入りの遊具を置いてある部屋に入りますと、ドアを少し開けていました。お父さんは、「大好きな場所に居られて満足しています。来年は家族みんなで来ます」と言われました。元スタッフの方々も参加いただき、遠くは東京や横浜からも来園されました。

10日には、4年振りとなるしょうがいのある卒園生社会人の部クリスマス会でした。参加総勢40人あまりが、西那須野教会牧師潘先生の差し入れのコーヒー等をいただきながら、懐かしくも楽しいひとときを過ごしました。

参加最年長の卒業生は、49歳のA君です。幼稚園の頃は、飛び出さないようにお母さんから手を握られていたA君が、病気で視力を失ったお母さんの手を引いてホールまで案内している姿に感動を覚えました。お母さんは「A君が手を引いてくれるので、感謝している。(声かけがなく)段差もそのまま手を引かれるので困る」とうれしそうに仰っていました。

それから、欠席でしたが、近況を便せんにしたためて送って下さった卒園生もいました。非正規のスタッフですが、社会人として真摯に生きていることに感涙しそうになりました。

最後に、各団体へのクリスマス献金の他に、園の備蓄している不織布のマスク1000枚を、西那須野教会を通して横浜市の大磯町に送りました。また、同数をいこい食堂(大阪、釜ヶ崎)での支援活動にも送りました。釜ヶ崎で支援されている米加田牧師によると釜ヶ崎の炊き出しは、昨年の100人から200人に、月末は250人に増えてきたとのこと。放課後児童クラブからは、「のじれん」という東京の団体に、有機栽培米30kgを送りました。路上生活を余儀なくされている方々等が、無事越冬で

きる一助にあればと願います。

(しらゆり 2023. 12. 15 加筆修正)

聖園那須老人ホームだより

社会福祉法人 イースタービレッジ

那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

皆様、あらためまして新年明けましておめでとうございます。

新年早々ですが、能登半島での大規模地震の被害に遭われた方々には、哀悼の意を申し上げますと共に、早期復興をお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスへの対応が変わり、一応の落ち着きが見え始めましたが、今年は、早々からの地震災害という事で、聖園那須老人ホームでも被害の確認後、あらためて災害への備えを確認しました。幸いにも聖園那須老人ホームは、那須町と災害指定避難所の契約を交わし、高齢分野の事業継続計画(災害と感染症への事前～終息までの計画)の策定が義務付けられておりましたので、ある程度の備えはされていましたが、いつ来るか分からない災害への備えは、更に厚くする必要があると感じています。いざという時の人を救う備えは、これからも厳重に行っていきたいと思っております。

また、現在旧聖園那須老人ホーム建屋の解体が行われております。ずいぶん解体が進み、面影が見られるのもあとわずかとなっています。今年度内には、解体完了を予定していますので、50年の建物の歴史の終わりをご覧になりたい方がいらっしゃいましたら下記へご連絡下さい。

新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を開始したいと思います。この制度は、地域にお困りの方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約で入所できるサービスです。契約にもいくつか条件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、ご興味のある方は、お問い合わせください。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布(タオル)を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

・新品、未使用、使用後は問いません。

・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、

タオルケット等大きさも問いません。

- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

YMCAだより

【とちぎYMCA 12月の3Days スクール・ワンデイスキー①②が無事に終了しました！】

12月下旬にありました、ウィンター3Days・ワンデイスキー①②が予定通り実施され無事に終了いたしました。暖冬の影響で雪不足が心配されておりましたがスキー場も人工降雪機などで対応しているため無事にレッスンを行うことができました。

ウィンター3Days では1日目に栃木の郷土野菜を使った野外炊飯。2日目は星ふる学校くまの木でとちぎ米を使った餅つきを行い、最終日は大谷石の歴史に触れ、クラフトを行いました。栃木県の魅力を感じられたプログラムとなりました。

また、1月にも雪遊びキャンプやスキーキャンプに向けて準備が進められています。子どもたちはプログラムの中で有意義な時間を過ごし、普段は出来ない体験をすることが出来ました。子どもだけでなく、子どもたちと向き合うことでリーダーとして共に成長することができました。

【とちぎYMCA・那須YMCA 1月の予定】

- ・1/6(土)～1/8(月) 年始ウィンタープログラムスタート
那須エンジョイスキーキャンプ@なす高原自然の家
マウントジーンズ
- ・1/6(土)～1/7(日) 那須ウィンターキャンプ@なす高原自然の家
マウントジーンズ
- ・1/13(土) サタデークラブ@昔遊び(西那須野幼稚園)
- ・1/20(土) サタデークラブ@昔遊び(西那須野幼稚園)
- ・1/27(土) サタデークラブ@雪遊び(なす高原自然の家)

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

お休みします



2月例会の予告

2024年2月例会は、ユースリーダーを招いて、ユースリーダーの活動報告を聞く例会です。

多くのご参加をお願いします。

日時：2月16日(木) 午後6時～8時30分

場所：日本基督教団西那須野教会

プログラム

6時から早く来た人から、食事をする。

6:30より例会開催

司会：田村副会長

開会点鐘

会長挨拶

ワイズソング

聖書朗読・祈祷

チョンリーダーによる報告

武田スタッフによる那須YMCAの活動報告

質疑応答

諸報告(YMCA・ワイズ)

YMCAの歌

閉会点鐘

会費 メンバー 1,000円

参加者は、2月12日(月・祝代休)までに村田副会長(090-9095-4035)に連絡のこと